平成30年度事務事業進行管理表（自治振興センター用）
（環境ISO管理）

事務事業名	一般事務及び施設管理業務
センター名	南信濃自治振興センター

1　環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×	ー	
○			電気・LPガスの消費	×	ー	×	ー	×	ー	
○			水の消費	×	ー	ー	ー	×	ー	
○			施設の緑化	ー	ー	○	○	ー	○	
○			フロン漏れ	×	ー	×	×	ー	×	
○			雨水利用による節水、緑化	×	ー	ー	×	ー	×	
		○	LPガス漏れ	×	ー	ー	ー	ー	ー	
	○		公用車の廃棄	×	×	ー	ー	×	×	

【作成上の注意】
1　「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
2　「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
3　影響評価は、1：典型７公害（大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全（緑地、生物多様性、水辺）、5：資源の枯渇/保全、6：その他（有害物質、景観）の分類ごとに実施します。
4　評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性（最悪を想定）を考慮して判断します。
5　影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：ー、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
6　影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2　環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
廃棄物の保管	廃棄物保管の表示、分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止の措置		
消防法に関する施設管理	防火管理者の選任		
消防法に関する施設管理	消防用設備の点検（1回/年）及び結果報告		
消防法に関する施設管理	避難訓練計画の届出及び訓練の実施（1回/年）		
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化	第一種特定製品の適正管理と点検等の実施		
使用済み自動車の再資源化	リサイクル券の適正な保管及び廃棄時の適正な処理の実施		
家電類の廃棄	家電リサイクル法に応じた廃棄時の適正な処置の実施		

1　順守評価が必要なものについて記載します。
2　組織の状況等の検討表の「2　利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
3　順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：ーで表示します。

3　リスクと機会（上記1及び2に関係するもの）

リスク（マイナス要素）	紙・電気等の消費、産業廃棄物の排出、汚水の流出、火災の発生、フロン類の漏出
機　会（プラス要素）	グリーン商品の購入、施設の緑化

４　環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
			環境目標達成のための手段・方法・手順	進捗状況・成果（監視・測定・分析・評価）	達成状況	進捗状況・成果（監視・測定・分析・評価）	達成状況
1	①	紙の消費量の抑制	両面印刷、裏紙利用の推進と会議資料の簡略化による紙の削減に努める。 半期ごとに検証する。				
	②	年間を通じて					
	③	対前年比3％減を目指す					
2	①	施設の緑化	庁舎周辺花壇及び駐車場の一部を芝生とした緑化に努める。				
	②	年間を通じて					
	③	明るい環境づくりを目指す					
3	①						
	②						
	③						

平成30年度事務事業進行管理表（自治振興センター用）
（環境ISO管理）

事務事業名	団体活動支援事業
センター名	南信濃自治振興センター

1　環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			遠山郷いい川づくり推進会議河川愛護活動	―	×	×	○	○	○	
○			水辺等美化運動	―	×	×	○	○	○	
○			ごみゼロ運動の取組	×	―	―	○	―	○	
○			観音霊水を愛する会　水質保全活動	―	―	○	○	○	○	

【作成上の注意】
1　「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
2　「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
3　影響評価は、1：典型７公害（大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全（緑地、生物多様性、水辺）、5：資源の枯渇/保全、6：その他（有害物質、景観）の分類ごとに実施します。
4　評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性（最悪を想定）を考慮して判断します。
5　影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：－、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
6　影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2　環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間

1　順守評価が必要なものについて記載します。
2　組織の状況等の検討表の「2　利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
3　順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：－で表示します。

3　リスクと機会（上記1及び2に関係するもの）

リスク（マイナス要素）	
機　会（プラス要素）	河川環境保全、外来種（植物）の駆除及び在来種の保護、水源地の確保、環境意識の向上

４　環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価 進捗状況・成果（監視・測定・分析・評価）	中間評価 達成状況	年間評価 進捗状況・成果（監視・測定・分析・評価）	年間評価 達成状況
1	①	遠山川両岸の草刈	下伊那南部建設事務所と河川改修箇所周辺の地域住民が協力して「かぐら大橋」上流両岸の環境美化活動を実施する。				
	②	7月末					
	③	1回以上実施					
2	①	遠山川両岸の草刈、美化活動	遠山川の美化活動、外来植物の駆除についての知識を学び計画的に実施する。				
	②	8月末					
	③	1回以上実施					
3	①	ごみゼロ運動の参加者数	市民協働によるごみゼロ運動として、春秋の2回環境美化活動を行い、その実績をカウントする。				
	②	年間を通じて					
	③	H29年度実績数（745人）以上を確保					
4	①	水質保全活動	「観音霊水を愛する会」が毎日給水場を清掃し、月1回水源地周辺の清掃と点検を実施する。				
	②	年間を通じて					
	③	水源地の清掃12回以上実施					